

理数系の先進的な教育に取り組む全国の「スーパーサイエンスハイスクール」指定校が集まる研究発表会がこのほど神戸市内で開かれ、加古川東高校が最優秀の文部科学大臣表彰を受けた。メンバーは自然科学部物理班の2年高井みくさん(17)・加西市、2年藤原圭梧君(16)・小野市・ら5人。少量の液体を吸い上げる実験道具「ピペット」を宇宙空間でも使えるようにする「宇宙ピペット」の開発を目指した研究が高く評価された。

(広畑千春)

スーパーサイエンスハイスクール神戸で研究発表会

加古川東高、最優秀に

発表会は文科省などが年1回開催。今年は国内外の231校約800人が成果を披露した。

昨年、同校を訪れた米航空宇宙局(NASA)の関係者から「無重力の宇宙空間では通常のピペットが使えない」と聞き、プロジェクトマネジャーの3年玉田麗さん(18)らは「自分たちで作ろう」と思い立った。

無重力空間に近い状態を作り出すため、コーン標識を組み合わせたロケット型の実験装置を自作し、校舎4階から落としてデータを集めた。3年荒谷健太君(18)が装置内の液面の動画やデータを無線で転送するシステムを開発。半年間、実験を繰り返したという。

なかなか理論値通りの結果が出ず「何度も『次、だめだったらやめよう』と思った」

宇宙で使えるピペット開発に評価

と3年頃安祐輔君(18)。それでも地道に装置の改良を重ね、ものの表面と液体が引き合う性質を利用したピペットを提案した。高井さんと藤原君は「将来、国際宇宙ステーションでの実験にも使えるように研究を進めたい」と意気込んでいた。

メンバーに北播磨の2人

研究成果を発表した加古川東高生＝神戸市中央区、神戸国際展示場

